

# 公益財団法人澁沢栄一記念財団

## 2020-2024 中期計画

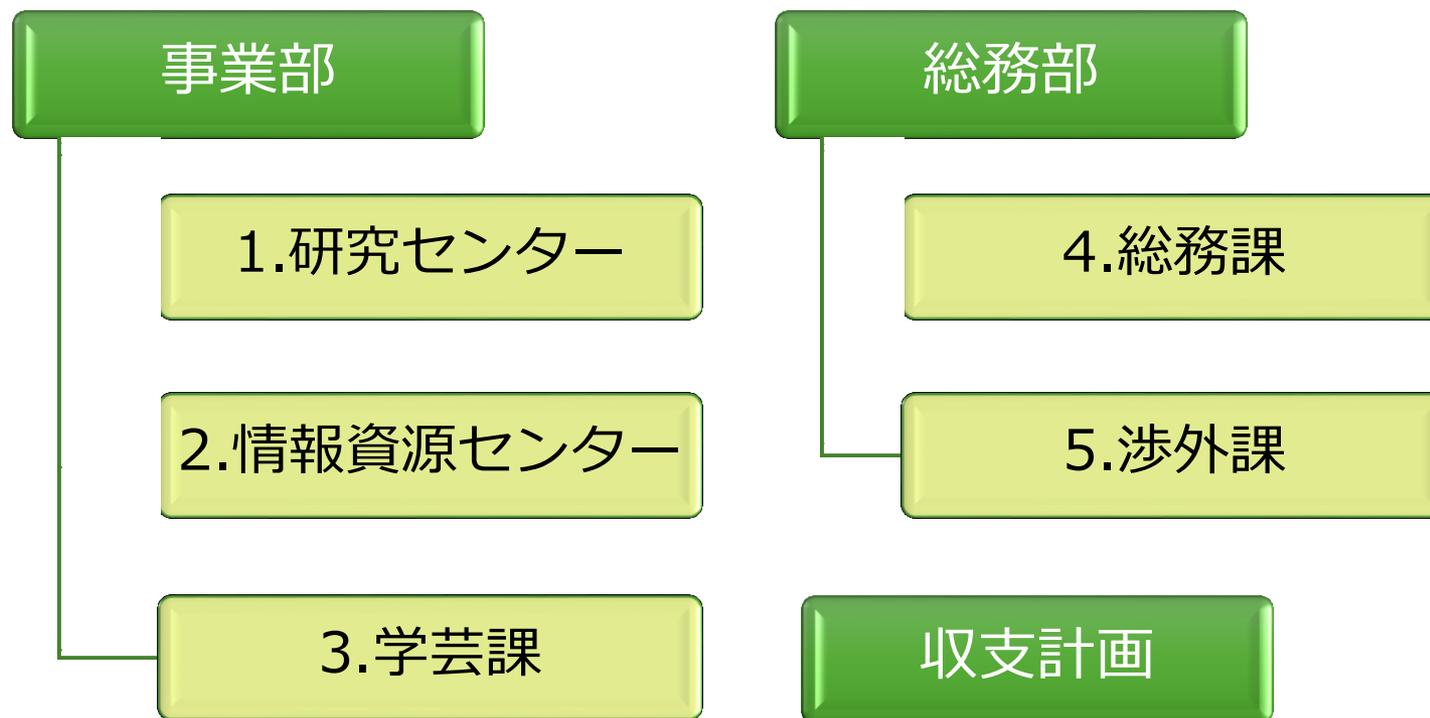


澁沢史料館 所蔵

2019年11月29日



# 中期計画



- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

事業部

## 取組方針

### 改めて、渋沢栄一を問う

- ・環境の変化に伴い渋沢栄一の評価も変化してきている状況下において、現代と当時の行動、生き方、考え方を改めて問いただす

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 1.研究センター

### 目標

- 企画事業に重点を置く

### 計画

#### 1. 渋沢栄一再考にむけての研究促進

- ・ 共同研究企画・運営、そして出版  
(渋沢栄一とフィランソロピー、合本主義、論語と算盤等)

#### 2. 啓発事業の企画・運営

- (「論語と算盤」読書会、論語とそろばんセミナー等)



「論語とそろばん」セミナー

- ・ 事業部
  1. 研究センター
  2. 情報資源センター
  3. 学芸課
- ・ 総務部
  4. 総務課
  5. 渉外課
- ・ 収支計画

## 2. 情報資源センター

### 目標

- 「デジタルアーカイブ社会」のニーズに見合った情報資源の開発および整備強化
- 2024年新紙幣発行を見据えて各事業を充実



デジタル版「実験論語処世談」

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 2.情報資源センター

### 計画

#### 1.社史プロジェクト

- ・ 渋沢社史データベースと変遷図における情報追加と既存コンテンツとの連携強化
- ・ 企業に眠る栄一関連資料の発掘、およびデジタル社会にふさわしいビジネス・アーカイブズの振興

#### 2.実業史錦絵プロジェクト

- ・ 錦絵の後継資料として渋沢栄一関連絵葉書の資源化

#### 3.渋沢関連情報資源の開発

- ・ デジタル版『渋沢栄一伝記資料』の全ページ公開とプラットフォーム移転準備
- ・ 『論語と算盤』をはじめとする渋沢関連文献の資源化

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

### 3.学芸課

#### 目標

- 渋沢栄一思想と事績を伝える博物館として、渋沢栄一及び本邦実業史に関する調査・研究、資料の収集・保存、公開、普及事業を行う。
- 当館所蔵資料とともに、当財団内外において蓄積されている情報や研究成果を活かし、さらに渋沢栄一への社会的関心の高まりに応えながら、渋沢栄一の人間像を広く伝える博物館を目指す。
- 誰もが利用しやすい渋沢史料館を目指す。



渋沢史料館 所蔵

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

### 3.学芸課

## 計画（1）

### 1. 展示活動

#### ①常設展示

2020年3月にリニューアルした展示を活用しながら、日々の調査・研究、普及事業などで得られた成果を反映し、より充実させていきながら渋沢栄一を伝えていく。

#### ②企画展示

日々の資料収集や調査・研究を踏まえて、渋沢栄一やその周辺をテーマとして企画展などを開催し、渋沢栄一の幅広い活動について理解を深める。

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

### 3.学芸課

#### 計画 (2)

#### 2. 普及活動

普及活動は博物館の機能の一つで、展示、調査・研究、資料の収集・保存とともに、また、それらをさらに高める役割を果たすものである。

渋沢栄一を知るきっかけをつくり、様々な事業を通じて渋沢栄一の人物像を広く伝える。

#### 3. 資料収集・保存

館蔵資料を保存し、渋沢栄一及びその周辺の資料を積極的に収集する。保存環境を維持し、資料を永く後世に伝えていくことに努める。

#### 4. 調査・研究

調査・研究活動は、博物館活動の根幹をなすものである。

渋沢栄一及び関連資料の調査・研究を行うことは、展示、資料保存・収集、普及活動を充実させる。

- ・事業部
  - 1. 研究センター
  - 2. 情報資源センター
  - 3. 学芸課
- ・総務部
  - 4. 総務課
  - 5. 渉外課
- ・収支計画

総務部

## 取組方針

### 組織の確立と基盤整備

- ・公益法人としての認可から9年が経過し、時代、状況が大きく変わることに伴い、今一度当財団の将来を見据えた組織、役割及び、運営等の基盤整備に取り組みたい

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 4.総務課

### 目標

- 職場環境の改善に努める。

### 計画

- 1.就業規則の改定と、労務環境の適正化に努める。
- 2.適正な職務スペース確保に努める。



財団概要

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 5.渉外課

### 目標

- 幅広い年代に渋沢栄一のファン層を広げることを目指し、普及に取り組む。
- 各種メディアやウェブページなどを活用し、財団内外への情報発信を強化する。



機関誌『青淵』

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 5.渉外課

### 計画

- 1.各課との情報共有を図るとともに、支部や関係機関との連携も進めていく。
- 2.広報活動に関わる発送先リストをより活用しやすい形で整理し、有効的に活用出来る環境を構築する。
- 3.外部組織とのネットワークを構築する。
- 4.機関誌『青淵』については、改編も含め、財団関係や渋沢栄一に関する情報を充実させることに注力する。

- ・事業部
  - 1.研究センター
  - 2.情報資源センター
  - 3.学芸課
- ・総務部
  - 4.総務課
  - 5.渉外課
- ・収支計画

## 収支計画

単位:百万円

収入	予					算
	2020	2021	2022	2023	2024	5ヶ年累計
預貯金利息	3	2	2	2	2	11
配当・分配金	110	110	110	115	115	560
債券収入	226	218	231	232	223	1130
会費	20	19	19	18	19	95
入館料等	12	11	11	11	10	55
寄附金・雑収入	5	5	5	5	5	25
収入合計	376	365	378	383	374	1876
支出	予					算
	2020	2021	2022	2023	2024	5ヶ年累計
固定・振替経費	200	200	205	205	200	1010
事業費	122	117	117	117	117	590
研究センター	25	20	20	20	20	105
情報資源センター	30	30	30	30	30	150
学芸課	45	45	45	45	45	225
雑誌刊行	18	18	18	18	18	90
会員支部	3	3	3	3	3	15
関連事業	1	1	1	1	1	5
共通費	3	3	3	4	4	17
法人経費	18	18	18	19	19	92
支出合計	343	338	343	345	340	1709
収支尻	33	27	35	38	34	167